



新年のごあいさつ

蒲郡市社会福祉協議会会長

富田 忠 男

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私は昨年 11 月に牧原会長のあとを受け、会長になりがんばっております。皆様には日頃から社会福祉協議会の活動にご理解ご協力を頂いており厚くお礼申し上げます。

皆様方もご存じの通り、日本人の平均寿命は男性 79.00 歳、女性 85.81 歳であり、人生 80 年の時代となっております。蒲郡市の 65 歳以上の人口は 18,362 人であり、昨年 9 月の高齢化率は 22.3% であります。少子化と共に高齢化は更に進んでいくものと思われま

す。このため私共社会福祉協議会といたしましては、行政との連携を密にしながら、高齢者の福祉対策を最重要課題として今年も各種の事業を進める考えであります。介護保険事業では、要介護認定調整やケアプランの作成、地域包括支援センター業務を実施、指定事業者としては居宅介護サービス利用者の立場に立って提供するよう努めてまいります。その他在宅老人給食サービス事業、一人暮らし老人の安否確認や交流会の開催、在宅福祉サービスふれあい蒲郡の事業等も引続き実施します。元気なお年寄りの対策として高齢者レクリエーション大会の開催、金婚式、ダイヤモンド婚式祝品、地区敬老行事に助成、老人クラブ活動費の助成、老人福祉センターでのふれあい入浴など実施してまいります。

老人クラブ連合会会員の皆様の総意と工夫を重ね、経験豊かなお知恵をお借りしながら市民福祉の向上に努めます。

皆様方の健康で生きがいをもって活動をされます事をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



年頭挨拶

蒲郡市老人クラブ連合会会長

石田 昭 一

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さんには健やかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。日頃は、蒲郡市老人クラブ連合会の運営について、温かいご理解と格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちは、いま「高齢者の世紀」に立っています。高齢者としての自覚や誇りを持って、すべての世代と連帯して心豊かな社会を築くこと。それが私たちのめざすものです。

そして、誰もが健康で安心して、心豊かに生き生きと生涯を送り長生きして本当に良かったと、誇りを持って実感できる、そんな地域社会づくりを築き上げていくことが大切であります。

老人クラブの歩みは緩やかで、また目立つものではありません。しかし着実に「前へ、前へ」とすすむ姿勢を堅持し、同世代の高齢者を支え、すべての世代と手をたずさえて老人クラブは 21 世紀を歩きつづけます。

さて本年も新春カラオケ大会、熱田神宮初詣と御園座観劇、福祉まつり、親睦旅行などいろいろな行事により多くの皆様にご参加頂きますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様やご家族にとって健康で“幸”多い年でありますように心からお祈りし、併せて蒲郡市老人クラブの発展に、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

『みんなが感謝と親切で行き抜きましょう』

